

6月の公開授業で見学に来られた潮来第一中学校の先生が、中学校のウェブサイトで写真とともに見学した際の感想を次のように述べておられました。

生徒の皆さんの日頃の姿に対して、このように良い印象をもち高く評価していただけたことは、とても喜ばしいことです。皆さんの毎日の取り組みは、確実に地域の方々の目に映り、大きな期待となっています。来年度も多くの中学生(後輩)が、本校入学を希望してくれています。私たちは、このことを自信として、さらに自分を磨き、この期待に応えられるように頑張っていきたいと思います。

『夢への一歩』  
さがす、見つかる、始まる

日頃の取り組みが着実に実る!!  
高まる地域の期待

千葉県立佐原白楊高等学校において、中学校教職員向けの公開授業があり、授業参観・説明会・部活動見学に参加してきました。



佐原白楊高校で、この時期にこのような形で公開授業を行うのは、今回が初めてだそうです。今年4月に着任されたばかりの安藤校長先生の、「(お客様には失礼かもしれないが)おもてなしをしない、生の(素の)生徒を見てもらいたい。」という強い思いから、このような公開授業が実現したそうです。

佐原白楊高校の特徴は「単位制」で、約70の講座から、自分の進路希望に合わせた講座を自由に選択して学ぶことができます。その中には、「韓国語」、「陶芸」、「地域伝統芸術(雅楽)」など、他校では学べないユニークな講座も用意されています。



授業参観は、5校時の中盤から6校時の最後まででした。先生の話真剣に聴いたり、ノートを工夫して丁寧にまとめたりするなど、各自が希望する進路に向けて意欲的に学習に取り組んでいる姿が強く印象に残りました。

また、5校時と6校時の間の休み時間、生徒達は次の授業のために教室を移動するのですが、掲示物を眺めていた私に、自分から元気にあいさつをしてくれました。生活態度や服装もきちんとしていたのです。

高校生になると、学校のきまりが中学校よりも厳しくなく、自主性に任せられる分、ややもすると服装や言葉遣いなどが乱れがちです。しかし、佐原白楊高校の生徒はそれらがきちんと守られていて、とてもよい印象を受けました。これが校長先生のおっしゃる「素の姿」であれば、3年間安心して学習に集中できる環境であるといえるでしょう。

また、授業参観後の説明会では、進路指導担当の先生から、「まじめにコツコツ学習する生徒が多く、全体的に3年間の伸びが大きい」ことが、佐原白楊高校の特徴だと言いました。また、そのような生徒が国公立大学に多く合格しているそうです。他の進学校に比べて実績が少ない分指定校推薦枠は少ないが、近年の進学率の伸びが著しく、今後の活躍に大いに期待できる高校だそうです。



「陶芸」の授業(写真左)、「フードデザイン」の授業(写真右)